

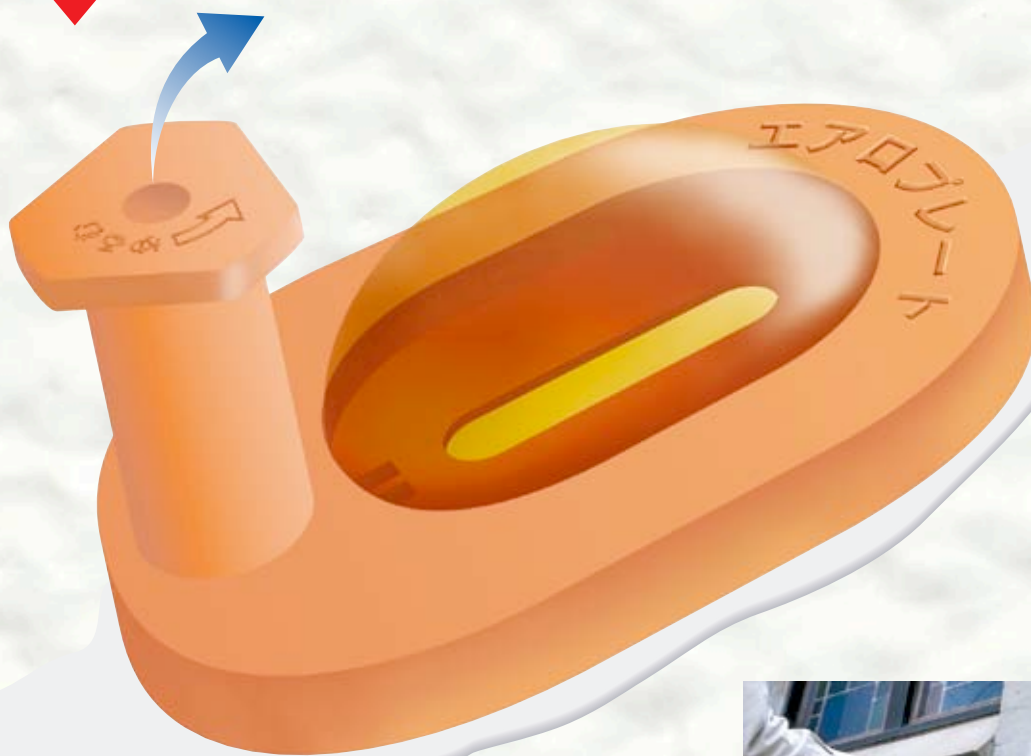
LPIS 自動式低圧樹脂注入工法

エアロプレート工法

コンクリート構造物のひび割れ補修工法

新機構

注入樹脂の残量を
抜き出し可能に！



エアロプレート工法とは

コンクリートのひび割れ補修を、Uカットシールに代わる簡便な、自動式低圧樹脂注入工法を提供するのがエアロプレート工法です。

下地コンクリートを痛めず、施工が容易で経済的です。



■特徴

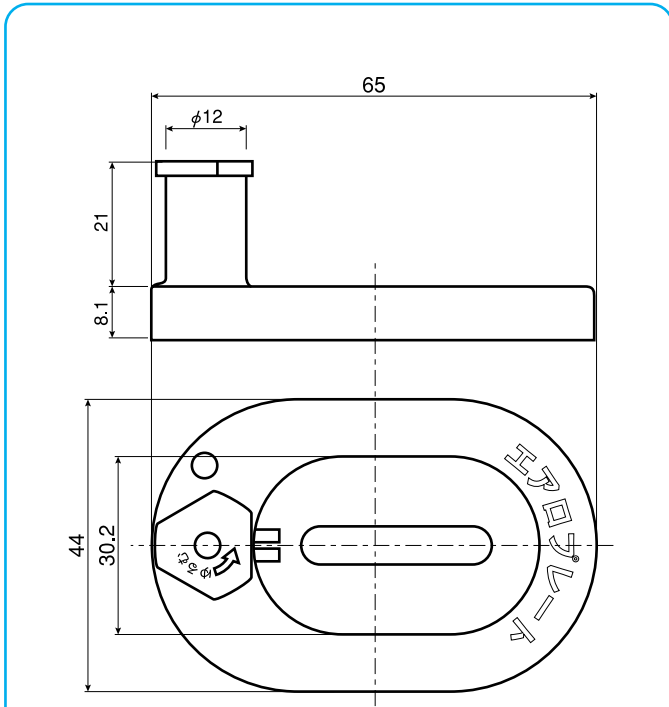
- ☆毛細ひび割れまで完全注入できる
- ☆注入口が大きいので、低圧でも注入スピードが速い
- ☆ひび割れのシールが簡単でも、注入樹脂は漏れない
- ☆狭い場所での施工が可能
- ☆施工効率が高い
- ☆経済的な工法である

■用途

- ☆RC外壁の改装下地処理としての注入工事
- ☆屋上防水の下地処理としての注入工事
- ☆床版の撓みによるひび割れの補修工事
- ☆鉄筋が錆びて発生するひび割れ補修工事
- ☆鉄筋の沈みひび割れ補修工事

エアロプレート工法

●エアロプレート構造



新機構

【注入材拔出し機構】

注入途中で容器内に残っている材料の拔出しができます。

【拔出し方】

作業中シール漏れ等で注入を止めたい時、プレート注入口先端のネジを緩めると残り材の拔出しができます。付属のビニール袋を注入口にかぶせ、ネジを緩めて下さい。周囲を汚さずに注入材が回収できます。

●ひび割れ補修施工手順

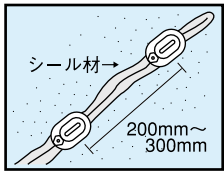
1. 事前調査
ひび割れの位置、幅、深さを確認する



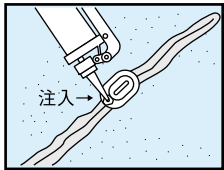
2. 下地処理
ひび割れ部分とエアロプレート取り付け部を清掃する。

3. エアロプレート貼付け及びひび割れ目止め

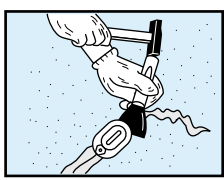
200mm～300mm間隔にパテシールを塗付けたエアロプレートを貼付け、ひび割れ表面とプレートの周りを目止めする。



4. 注入材充填
混合した注入材をグリシガン等に充填し、プレートの注入口より注入する。



5. シール材撤去及び仕上げ
注入材が硬化後、プレートを皮すきやサンダー等で除去し、表面を仕上げる。



●使用材料

	製品名	工法材料名	荷姿
注入器具	エアロプレート	自動式低圧樹脂注入工法	50ヶ/ケース
注入材	エポキシ樹脂	低粘度エポキシ樹脂 (JIS A 6024適合品)	3kgセット×4セット/梱
		低揺変性エポキシ樹脂 (JIS A 6024適合品)	
シール材	目止め用 シール材	特殊ゴム性剥離シール	320ml/10本
	プレート接着用 パテシール材	速硬2液エポキシ樹脂接着材	320ml/セット



株式会社 **リノテック**

〒464-0003 名古屋市千種区新西2-3-6
TEL.052-774-6621 FAX.052-774-6627
http://www.renotec.co.jp

施工店